

挑戦せずして、未来が開けますか。

We have potential

令和7年 第3回 岐阜県議会定例会 一般質問

Discover GIFUの 展開について

質問
question

インバウンド誘客の次なる展開として、体験型旅行商品の魅力を世界に向けてどのようにプロモーションしていくのか。又、新たな商品開発に向けて異業種や多様な分野との連携をどのように進めていくのか江崎知事のお考えをお尋ねします。

答弁
answer

〈江崎知事〉

「世界から選ばれ」、「実際に足を運んでいただける岐阜県」を目指してまいります。

本県におけます昨年の外国人宿泊数は過去最高を大きく上回り、コロナ禍から完全に復活したと言えます。中でも飛騨地域は、多くの外国人旅行者で賑わっておりますが、残念ながら一部の地域に集中しております。県としては、「他の地域にもう1泊」、これを促す取り組みが必要であると認識しております。

又、ご指摘の通り、本県は外国人旅行者一人当たりの旅行消費単価が全国平均より低く、「稼ぐ観光地域づくり」を進めることが重要と考えます。

このため、今回新たな取り組みとして、まずは「全県域への誘客」、これを図るために、「地歌舞伎」や「関ヶ原」、「美濃焼」、「関の刀鍛冶」といった、県内全域に点在する文化・歴史・伝統・匠の技などの観光資源をストーリーとして繋ぎ合わせ、特別感のある体験型商品を「Discover GIFU」と銘打ち、計40本造成したところでございます。

これを「稼ぐ観光地域づくり」に繋げるため、実は本日（質問に登壇した7月4日）、東京で開催される「インバウンド商談会」を皮切りに、世界11の国・地域で開催される旅行博や商談会に出展いたしまして、富裕層を顧客とする海外の旅行会社への売り込みを行うなど、プロモーションを本格的に実施してまいります。

そのプロモーションに先立ちまして、ニュースにもなりましたが、この5月には、今回造成した主なメニューをイタリアの国民的DJでSNSフォロワー48万人の「ラ・ビーナ氏」に体験いただきました。白川郷のフォトウェディングにご主人と一緒に来られましたけど、結婚記念日に、まさに着物を着て写真を撮られ、大変感激しておられました。SNSを通じて彼女に世界中に発信していただいたところでございます。

このように、来県された外国人観光客が本県での体験に感動し、自身の言葉で体験を発信していただくことが、最も効果的な誘客に繋がると言われております。

こうした認識のもと、新たな商品開発に当たりましては日本の原風景を味わえる「農村の暮らし体験」や、癒し、これを得られる「森林浴」、更には、礼節を学ぶ「武道」など、感動に繋がる体験型コンテンツを充実させてまいります。

こうした取り組みにより「世界から選ばれ、実際に足を運んでいただける岐阜県」を目指してまいります。



恩田
Yoshiyuki Onda
佳幸



Discover GIFUの展開について

私はこれまでグリーンツーリズムやアドベンチャーツーリズム、ウェルネスツーリズムなど地域資源や豊かな自然、伝統文化、人との交流など、「岐阜県にしかない本物の良さ」を活かした体験型、滞在型、着地型観光のビジネスモデルの構築について約5年間提案し、実践してきました。

岐阜県や山県市には責任を持って守っていかなければならない「本物の良さ」があります。その本物の良さを保護や補助するだけでなく、「本物の良さ、地域資源」を活用した「生業」として確立し、地域が自立して継続できる仕組みを整えていかなければなりません。

そして、令和7年第3回定例会一般質問にて、体験型、滞在型観光を次のフェーズへ進めるため、Discover GIFUについて提案させていただきました。

Discover GIFUとは

主に欧米豪市場の高付加価値旅行者の本来への誘客・宿泊促進と観光消費額の拡大を目的に、岐阜県にしかない「本物の良さ」、「豊かな自然」、「匠の技」（伝統工芸産業等）、「伝統文化」、「人との交流」、「食」等をテーマとした、着地型体験商品の開発に取り組み、今回、40本の体験商品を作成しました。

令和7年5月から体験商品を「Discover GIFU」と銘打ち、世界各国の旅行博・商談会等でのプロモーションを本格始動しました。

40本の体験プランには、徳川家の刀を代々手掛けた、25代26代藤原兼房刀匠による迫力ある日本刀鍛錬が間近で見学でき、実際に大槌を持って行う鍛冶体験と、1407年から続く由緒あるお寺「龍泰寺」にて座禅体験をして、静寂のひと時で心を整えた後は迫力ある居合を見学するツアーや、日常の煩悩から離れて作陶と茶の湯で身心を癒すツアーなど、本物の日本を体感できるものがラインナップされています。



「Discover GIFU」世界各国の旅行博・商談会等でのプロモーションを本格始動



肉のせせらぎと森の香りに包まれる、癒しの歩き体験
「南無の奥地」を上手に活用し、五感で味わうリトリート体験



不動の滝・天竜リトリート
「日本アルプス」の絶景で味わう、自然と一体になる自然体験



虎天山水保寺と水戸園で味わう、心と魂の美濃体験
「神の静寂と作陶のひととき」が織りなす、癒しと創造の旅



長良川の伝統と豊穣さを味わう、食上の郷土体験
「文化と食が融合する、特別な旅のひととき」



Discover GIFU
ホームページ

データから見る岐阜県の観光分野の実績

訪日外国人旅行者から岐阜県は大変注目を浴びています。

〈訪日外国人宿泊者数〉
2024年 193万人 全国14位
前年比プラス76% 全国8位
〈延べ宿泊数〉 全国14位
〈旅行消費額〉 437億円 全国15位

新型コロナにも負けず挑戦し続けた県職員の皆さんや事業者の皆さんの取り組みが形になり今がある

9カ国語に対応した多言語観光サイトの整備や、外国人旅行者が日本や岐阜県の情報を分りやすく検索できるオンラインツールの充実など、デジタル面での整備を進めてきました。

又、宿泊施設だけでなく、体験施設や飲食店、バス・レンタカーなどの交通機関、通訳ガイドなど様々な事業者と連携し、訪日外国人向けのオプションツアーが実現しました。

訪日外国人旅行者の消費額にはまだまだ課題があります

〈一人あたりの消費額〉 39,000円 全国38位 〈平均宿泊日数〉 2日 全国42位
このような課題は岐阜の持つ地域資源が十分に体験型・滞在型観光に結びついていないからです。

既に、岐阜県内の体験型・滞在型観光は確かな結果を出しています

例えば、羽島市の日本刀の刀鍛冶体験が非常に好評です。これは、京都駅から1時間以内で鍛冶場まで到着するアクセスの良さに加え、英語対応が可能な鍛冶職人本人による予約・案内体制が整っており、訪日外国人にとって非常に魅力的な体験となっています。

又、新幹線からの立地条件に限らない事例として、飛騨地域で行われる里山サイクリングを提供する企業も自社にて外国語対応のできる体制を整えて一定の成果を上げています。



外国人宿泊者数は193万人、過去最高を大きく上回り、コロナ禍から完全に復活!

山県市にしかない豊かな自然・伝統文化・人との交流などを活用した体験型・滞在型・着地型のアクティビティオプションツアーが大変に注目を浴びています。

令和7年度、Discover GIFUに山県市内における円原川でのテントサウナなど「円原クリアブルー 五行リトリートサウナ」が採択されました。

バーベキューや遠足・運動会、ゴミ問題等は責任を持って解決していきます。そして、既に解決済み示し他の地域では結果も出ています。後は実行するだけです。

